

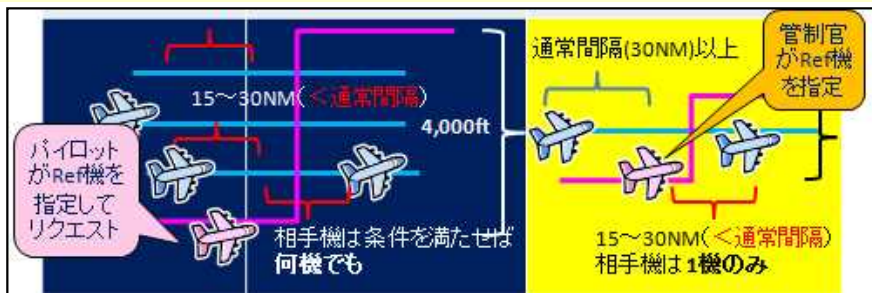
施策名：洋上管制間隔の短縮 (OI-28) ADS-C CDP 空対空監視 (ASAS)の活用/ATSA-ITP運航(OI-30-1)

貢献内容：CDO及びITP導入効果を推定し意思決定 (2014年度)

研究機関名：電子航法研究所 (ENRI)

【実現施策の概要】

○洋上経路において上昇降下時のみ短縮した縦間隔を適用



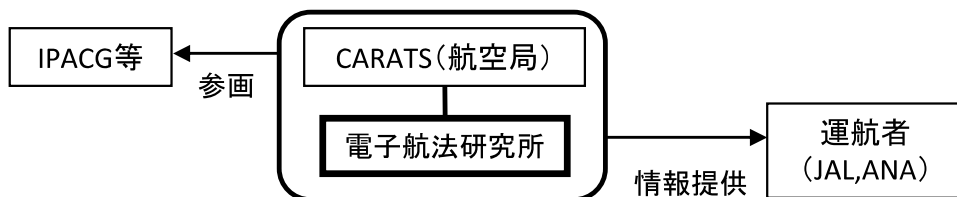
■ ITPの実施条件

■ CDPの実施条件

ITP: In-Trail Procedure (ASASの搭載が必要)
CDP: Climb Descent Procedure (RNP4が必要)

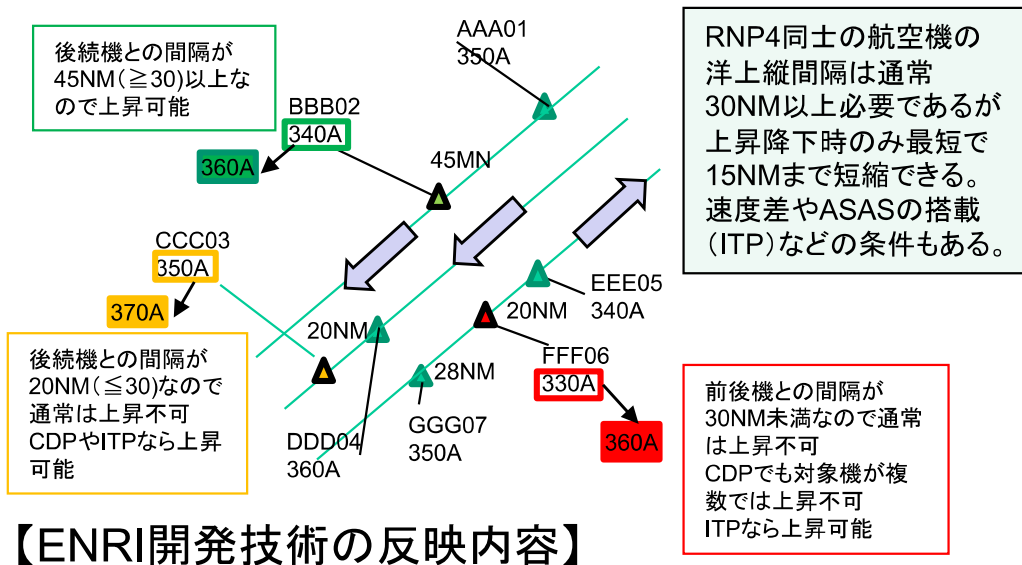
【研究の実施概要】 2012～2015年度

- ・設定課題・目標 より最適な太平洋編成経路システムの経路生成条件の提案
- ・研究テーマ名 【到着経路を含めた洋上経路の最適化の研究 (ENRI: 福島 幸子)】
- ・研究実施体制 下記参照。運営費交付金による事業



【成果還元の内容】

- 洋上管制シミュレーションを行いCDPおよびITPの導入効果を検証し、経路ごとの燃料削減及び飛行時間短縮の傾向を確認
- 福岡FIRにおいてCDP及びITPが実施される[2019年度～]



RNP4同士の航空機の洋上縦間隔は通常30NM以上必要であるが上昇降下時のみ最短で15NMまで短縮できる。速度差やASASの搭載(ITP)などの条件もある。

前後機との間隔が30NM未満なので通常は上昇不可 CDPでも対象機が複数では上昇不可 ITPなら上昇可能

【ENRI開発技術の反映内容】

○シミュレーション結果を航空会社に提示し、意思決定に貢献した

【WEB参照先】 電子航法研究所 年報
https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】
(施策に関する問合せ) CARATS事務局
国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
(研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432